ユニー・ファミリーマートグループの歴史

当社は、2016年の経営統合により誕生して以降、グループ全体のガバナンスを一層強化しています。また、高品質で高効率なサプライチェーン管理により、安全で安心な商品やサービスを取り揃え、地域密着経営を行う企業としてリアル店舗の強みを十分に活かし、フランチャイズ加盟者やお取引先とともに、消費者ニーズに応えながら社会課題の解決に取り組みます。これからも、当社グループのブランドへの信頼を高めながら、私たちの企業価値を最大化していくことに努めていきます。

FamilyMart 1973

1973年、(株)西友ストアーが新業態として地域に密着した小型店開発を手掛け、1号店が埼玉県狭山市に開店しました。「お客様とフランチャイズ加盟店、本部とが家族的なお付き合いをしながら、ともに発展していきたい」という考えから、ファミリーマートと名付けられました。お客様の生活をより身近な店舗で支えるとともに、安全・安心なまちづくりや環境問題にも取り組み、地域に寄り添いながら地域課題の解決に努めてきました。

ファミリーマート1号店

ユニー 1971

1960年代後半の高度経済成長の中、日本では食料品から日用雑貨・衣料品を取り揃えた大規模商店として「スーパーマーケット」が急成長しました。ユニーは、1969年、西川屋(1912年創業)とほていや(1927年開業)とタキヒヨー(1751年創業)の共同出資で設立。1971年に西川屋とほていやが合弁し、ユニー(株)が誕生しました。

サークルKサンクスのCVS事業と、中京地区を中心としたGMS事業を展開し、環境配慮で業界をリードする「エコ・ファースト」企業として、持続可能な社会の形成に貢献してきました。

ほていや

西川屋

2016 経営統合

UFHD

ユニー・ファミリーマートホールディングス

2016年9月、コンビニエンスストア(CVS)事業を展開するファミリーマートと、総合小売(GMS)事業とCVSを中心としたユニーグループ・ホールディングスが統合し、売上高約4兆円※のユニー・ファミリーマートホールディングスが誕生しました。CVS事業とGMS事業それぞれの強みを活かしながら、より広く、より深くお客様のニーズにお応えするため、これまで以上に地域に寄り添いながら地域課題の解決に取り組み、持続可能な社会の形成に貢献しています。

※チェーン全店の売上高含む

2018 子会社化

ITOCHU

2018年8月、当社は伊藤忠商事の子会社になりました。

伊藤忠商事は、1858年に麻布(まふ)の卸売業として創業以来、三方よし※の精神で事業を拡大し、現在では世界63ヶ国の約110拠点で10万人を超える人々が働く総合商社です。

※三方よし：近江商人の経営学のひとつ「売り手よし、買い手よし、世間よし」のこと。初代伊藤忠兵衛による創業時から脈々と受け継がれている精神で、現代のCSRにつながる考え方として、多くの企業で経営理念の根幹となっています。

2017 資本・業務提携

ドン.キホーテ HLDGS

2017年11月、当社はドンキホーテホールディングスと資本・業務提携をしました。

(株)ドンキホーテホールディングスは、現在の中核事業である「ドン・キホーテ」の前身が1978年に創業して以来、日本各地の主要都市で総合ディスカウントストアおよび総合スーパーを展開しています。海外を含め約400店舗を展開する「ドン・キホーテ」は、豊富な品揃えと利便性を兼ね備えた日本を代表するディスカウントストアです。訪日外国人をはじめ多様化するお客様のニーズにも積極的に応え、疑問や相談に英語・中国語・韓国語・タイ語でも対応できるテレビ電話サービスを全店で提供しています。

※2019年1月、ユニー(株)は(株)ドンキホーテホールディングスの完全子会社となりました。